S核討会資料

国際水産資源研究所 くろまぐろ資源部 竹内

本日のお題

- 0. 準備
- ・ 1. 収束を目指そう-収束条件-
- 2. 収束を"最終確認"しよう-jitter run-
- ・ 3. 行儀の悪いデータを探そう-尤度プロファイル-

0.準備

- ・ ここでは、Rにr4ssというパッケージをインストールします。
- ・ インストール方法1 (CRANから)
 - o install.packages("r4ss",repos="http://cran.ism.ac.jp")
 - 。 SSの最新バージョンにそのままでは対応していない場合がある!
- ・ インストール方法2 (githubから)
 - o install.packages("devtools",repos="http://cran.ism.ac.jp")
 - o devtools::install_github("r4ss/r4ss")
 - o 最新版のインストールができる



Ian Taylor,
NEFSCANM
FS

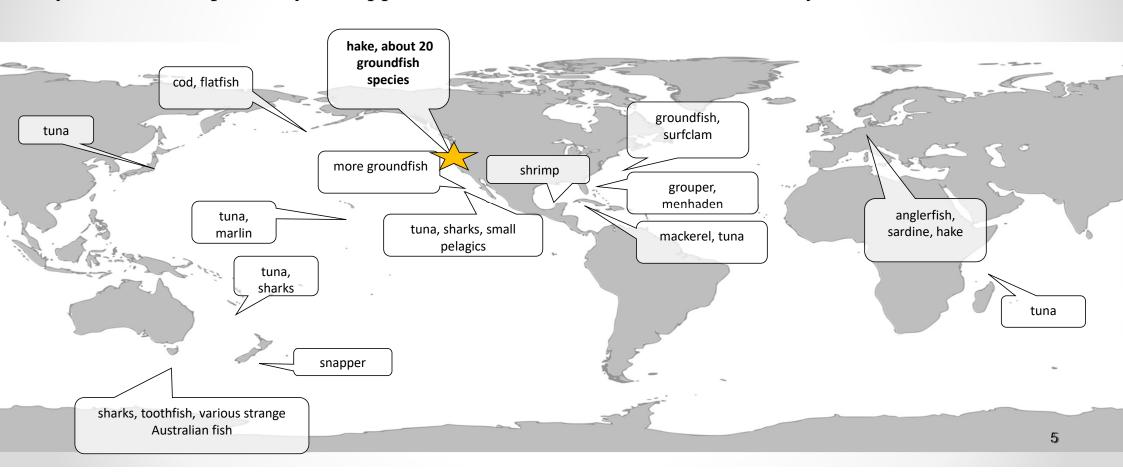
閑話休題 – SS の歴史 –

- Anchovy synthesis (~1985)
- Generalized model for west coast groundfish (1988)
- Complete re-code in ADMB as 552 (2003)
- Add Graphical Interface (2005)
- SS_V3 adds tag-recapture and other features (2009)

Stock Synthesis usage

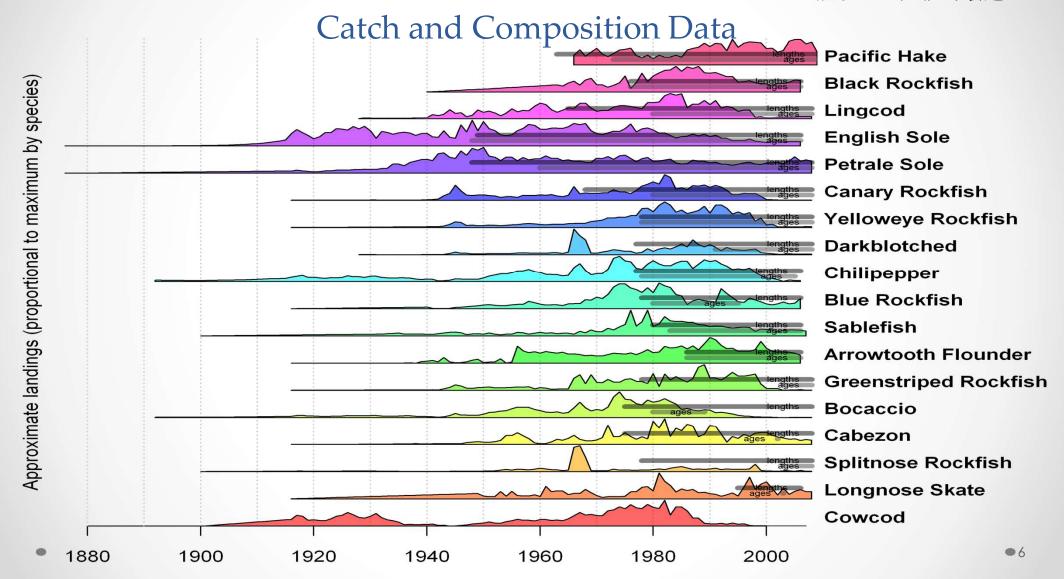
Used to formally assess 61 fishery stocks by 2012: 35 in the US, 10 tuna/billfish stocks in three oceans, 4 European stocks, and 12 Australian stocks.

Many additional exploratory SS3 applications for other other stocks underway



Pacific Coast Groundfish

漁業の歴史の割にデータが 揃うのは比較的最近



同じモデルが広く使われていることのメリット

- プログラムの誤りが減る
- ・ 関連したツール(可視化、シミュレーション等)の開発が進む
 - ·r4ss: 結果の可視化、解析の自動化
 - ss3sim: SSとRを組み合わせたシミュレーション用パッケージ Anderson, S.C., Monnahan, C.C., Johnson K.F., Ono, K., Valero, J.L. (Accepted) ss3sim: An R package for Fisheries stock assessment simulation with Stock Synthesis. PLoS ONE. arXiv: 1312.6450.
- 知識の共有(今回の様な機会が一例)
 - 研究者(資源評価担当者)間の共通言語になる
 - モデル開発・発展の要望・アドバイスが得やすい
 - 他の担当者の結果をより容易に理解できる

1.収束を目指そう

• 収束?

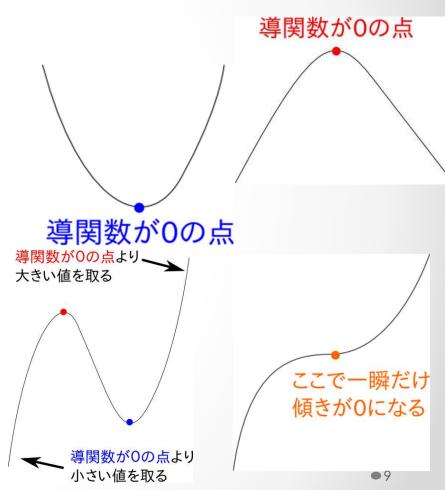
- 唯一無二の結果を得たい
 - ・ さもないと?
 - 実はあとから結果が違ってましたなんてことに!
 - でも意外にありがち (涙)
 - 一歩間違うと裁判沙汰にも



Murdoch McAllister, UBC

1, 収束を目指そう –高校数学の復習-

- ・ 関数の極小 (最小) の点では導関数 (傾き) が0
- ・ 導関数が0でも関数の極小点とは限らない!
 - 。 極大(最大)
 - 極大でも極小でも無い!
- ・ 導関数が0かつ2階微分が正なら関数の極 小 (最小)の点



1, 収束を目指そう –収束条件の確認 (SSの場合) -

- ・ SSでも基本は同じ、高校数学のときのようにパラメータがx一個のみでは無くて、何十、何百あるだけ!
- ・ SSの尤度の最小の点(最尤推定)では各パラメータでの尤度の傾きが0(非常に小さい)
- ・ 各パラメータでの尤度の傾きが0でも最尤推定に収束していると は限らない!
 - 。 極大 (最大)
 - 極大でも極小でも無い!
- ・ 各パラメータでの尤度の傾きが0(非常に小さい)かつヘッセ行列(Hessian)が正定値(Positive definite)なら収束している
- ・ "Hessian does not appear to be positive definite"という出力 は収束には赤信号

 $H(f) = \begin{bmatrix} \frac{\partial^2 f}{\partial x_1^2} & \frac{\partial^2 f}{\partial x_1 \partial x_2} & \cdots & \frac{\partial^2 f}{\partial x_1 \partial x_n} \\ \frac{\partial^2 f}{\partial x_2 \partial x_1} & \frac{\partial^2 f}{\partial x_2^2} & \cdots & \frac{\partial^2 f}{\partial x_2 \partial x_n} \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ \frac{\partial^2 f}{\partial x_n \partial x_1} & \frac{\partial^2 f}{\partial x_n \partial x_2} & \end{bmatrix}$

2. 収束を"最終確認"しよう —jitterラン-

- ・ 各パラメータの傾きが0 (非常に小さく) でヘッセ行列が正定値でもまだ油断は禁物
- 局所最小 (local minimum)かも!
- では、どうやって局所最小を避けるか?
- ・ そういうときには "下手な鉄砲も数打ちゃ 当たる" 式でことに望む
- ・ 様々な初期値から計算を始めて、同じ結果 に収束することを確認

2. 収束を"最終確認"しよう -r4ss でjitterランを実行-

- Rを起動して
 - o library(r4ss)

か? -尤度プロファイルの活用-

参考資料(尤度プロファ

• 一般論

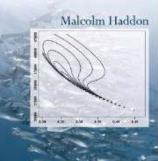
- o Ecological Detective (1997)
 - Hilborn and Mangel
- 。 Haddonの教科書
 - Modelling and Quantitative Methods in Fisheires –Second Edition- (2011)
 - 8章辺り(但し、コードと載せられている図は間 違っているような...)







Modelling and Quantitative Methods in Fisheries





水産での利用例

- Lee et al 2014
- Ichinokawa et al 2014

参考資料(尤度プロファイル)

- 一般論
 - o Ecological Detective
 - http://www.colorado.edu/philosophy/hale/ENVS5200/Hilborn%20and%20Mangel%2 %20Ecological%20Detective.pdf
 - 。 Haddonの教科書

